

一般（代表）質問通告一覧表

令和4年第5回笠岡市議会定例会

9月12日・13日（2日間）

通告者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1 創政みらい 天野喜一郎	1 笠岡市政に対する姿勢について  2 教育行政について	(1) 市長政策が具体化され、議案提出に至るまでの手順を尋ねる。 (2) 議案に対する認識を尋ねる。 (3) 市長は市長としての資質の向上について、いかなるお考えをお持ちか尋ねる。 (1) 小中一貫教育実施に向け、解決しなければならない今後の問題点について尋ねる。 (2) 小中一貫教育実施にあたり、就学前教育（保育も含む）は今後どうあるべきか尋ねる。 (3) 市長の教育行政への介入について、どのようなお考えをお持ちか尋ねる。	副市長 " 市長 教育長 " 市長
2 讃志会 奥野 泰久	1 笠岡市の将来人口について	(1) 第7次笠岡市総合計画後期計画が4月からスタートしたところであるが、令和2年度の国勢調査の結果を基に、足元の2025年の笠岡市の人口予測を、将来の計画より下方修正している。人口について笠岡市の見込みと新たな将来像を問う。 (2) 笠岡市においては、将来の人口予測、人口構成により様々な計画やプランを作成し実行しているが、これらには大きな変更はないのか問う。 (3) 言うまでもなく地域の人々の数は、地域内生産活動のエンジンである。 小林市長就任以来、企業誘致や民間の設備投資、国道2号玉島笠岡道路をはじめとする公共事業が進捗したところであるが、こうした新たな変化が笠岡にもたらすものは、何かを問う。	市長 " "

	2 物価高対策について	<p>ロシアによるウクライナ侵攻，そしてエネルギー価格や穀物価格の上昇，そして生活全般に及ぶ物価高が私たちの日々の生活に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>国としても「物価・賃金・生活総合対策本部」の会合で物価高騰対策に活用するため，1兆円の地方創生臨時交付金を増額する動きがある。</p> <p>市としてこうした物価高に対する考え方を問う。</p> <p>(1) 教育関係について</p> <p>(2) 福祉関係について</p> <p>(3) 産業関係について</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
3 公明党 齋藤 一信	1 笠岡市の陸上公共交通と公設民営化の検証	<p>(1) (株)井笠バスカンパニーへの公設民営化に伴う運行委託を経て，笠岡市の今日までの陸上公共交通はどういう現状なのでしょうか。その評価と陸上公共交通への公設民営の維持について今後の見通し，方針をお示しください。</p> <p>(2) (株)井笠バスカンパニーへの公設民営化以前，以後の運営に関わる笠岡市の年間負担額，市民1人当たりの負担額，利用者数の推移について，市の見解をお示しください。</p> <p>(3) 先日，岡山市内の大学へ通う学生の方から，「笠岡市のバスはICOCAとか使えないから不便。だからバスに乗りたくない。」との声が届けられました。</p> <p>キャッシュレス決済が急速に普及する中で，そのサービスの種類は電子マネー決済やスマホ決済など多種多様です。しかしながら，市内を走るバスには，その対応ができるものがないのが現状です。</p> <p>高校生を中心とした若者はもちろん，今や高齢者も積極的にその利用は増えております。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>2 笠岡市の防災減災・安全対策について</p>	<p>バス利用の利便性向上のため、時代に沿ったニーズへの対応をすべく、市の財源で早急に整備すべきと考えます。笠岡市の陸上公共交通への利便性向上・利用者数向上に向けた施策をお示してください。</p> <p>(1) 防災対策ではまず、自分の命は自分で守る「自助」が基本です。個人の避難行動計画を時系列で決めておく「マイ・タイムライン」の推進は、公明党も強く訴えるものですが、笠岡市の推進への課題と方針をお尋ねします。</p> <p>(2) 2014年に、笠岡市AED設置事業実施要綱が整備されて8年が経過しました。今後の笠岡市のAED設置推進についての課題と方針をお尋ねします。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた、災害対応の方針についてお尋ねします。</p> <p>(4) 文部科学省は、体育館へのエアコン整備費に関して、地方創生臨時交付金のほか、文部科学省の学校施設環境改善交付金や緊急防災・減災事業債の活用も可能としています。災害発生時において、地域の避難所としても利用される既存体育館への空調(冷房)設備の設置については、校舎の空調(冷房)設備の設置が進むにつれ、設置計画の検討が進むべきと考えます。</p> <p>一方で、既存体育館の多くは、断熱性能が確保されておらず、冷暖房効率が悪いことが課題となっております。</p> <p>このため、文部科学省としては、体育館本体の建て替えや全面的な改修工事に併せ、断熱性能を確保した上で空調を設置するなど、各地方公共団体においても対策を検討していただいた上で、引き続き、教育</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	----------------------------	--	--

		<p>環境改善に取り組んでいます。そういった国の動きも踏まえ、私たち公明党としても、一日も早く、笠岡市内の体育館への空調整備を強く求めます。</p> <p>笠岡市の整備計画についてのお考えをお示してください。</p>	
<p>4 笠栄会 坂本 亮平</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及びその効果について</p>	<p>コロナ禍と言われ3年、これまで新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、多くの事業提案がなされてきました。</p> <p>これにより、全国の市町村では大きく決算規模が膨張していることは言うまでもありません。</p> <p>本市においても、本9月定例会では3億6,000万円のコロナ対策予算が計上されるなど、これまで概算90億円近い費用が計上されています。</p> <p>他市では、この交付金の実施状況と検証を公表している所もある中、本市においても毎年決算報告として提出をされていますが、改めて事業を振り返り見ると、スポット的な事業が多く、その費用対効果と将来を見据えた事業が計画実施されているのかと感じるものも多々あります。</p> <p>提案されている事業は、当然精査、検証を行った上で新たな事業計画を提出していることを踏まえ、以下の点を尋ねます。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、これまで実施した事業に対し、実施状況を振り返り、その効果を検証しているのかを尋ねます。</p> <p>(2) 本年3月に同交付金の使途について、内閣府から20年度の使用状況が報告され、使途の事業費別順位は、1位から、事業継続における中小小規模事業者への支援、資金繰り支援、地域経済の活性化、リモートや</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

	<p>2 都市のコンパクト化における居住誘導区域の設定について</p>	<p>D X化，マスク・消毒液等の確保，治療薬やワクチンの開発，学校事業を円滑に進めるための環境整備，生活困窮者への支援と続いています。</p> <p>本市においては，この交付金活用に対し，こういったグランドデザインの基に事業計画をされているのかを尋ねます。</p> <p>(3) 第9次笠岡市行政改革大綱では，厳しい財政状況として計画的な財政運営が必要であるとくくる中，新型コロナウイルス感染症は，経済状況をさらに悪化させる結果となっています。</p> <p>本市政においても，今後はやりたいこととできることを精査し，一定の我慢も必要となってくると考えますが，市長の考えを尋ねます。</p> <p>国土交通省は，都市のコンパクト化は生活サービスの機能維持や住民の健康増進，利便性の維持向上を目指し，コスト削減や地域経済を活性化すると位置づけています。</p> <p>そういった中で，居住を誘導し，人口密度を維持するエリアを設定する居住誘導区域を設け，区域内の居住環境向上を目指し，活力の維持を図ろうとしています。</p> <p>本市でも，笠岡市立地適正化計画に基づき，笠岡駅周辺地区，番町や美の浜がその区域にあたります。</p> <p>この区域設定について，以下の点を尋ねます。</p> <p>(1) 改めて笠岡市の定める居住誘導区域のエリア選定の定義とは何かを尋ねます。</p> <p>(2) 今後，バイパス開通やスマートインターチェンジ開設から居住誘導区域として，大島地区や茂平地区などを新たに検討できないかを尋ねます。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
--	-------------------------------------	---	--------------------------------

		<p>(3) 本年7月より改定した、笠岡市住宅リフォーム助成金制度において上限の見直しはされましたが、一律であった助成経費が、居住誘導区域は最大10万円の加算となっています。市内全域にリフォーム等を必要とする住宅は多々ある中、これが市民平等なサービスであると言えるのかを尋ねます。</p>	関係部長
--	--	--	------